

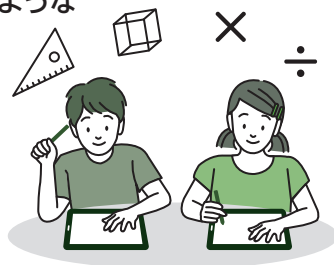
個別最適化された学びの実現に向けて

三鷹市では、「人間力」と「社会力」を兼ね備えた子どもを育成するため、コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育により、連続性と系統性のある質の高い学びの提供に努めてきました。

今後は、変化の激しい予測困難な時代に対応できるよう、これまでの取り組みを一層推進し、「個別最適化された学び」を実現するとともに、どのような状況でも、自律的な学習ができる子どもを育成します。

この度、これらの実現に向けた取り組みの一つとして、市立小・中学校の児童・生徒に1人1台のタブレット端末を導入し、効果的な活用を通じ、児童・生徒の学習状況や興味・関心などに応じた学びを行い、学力の確実な習得を目指します。

⇒指導課☎内線3248



「個別最適化された学び」とは？

多様な子どもたち一人ひとりの習熟度、特性や興味に応じた学びを提供し、誰一人取り残されことなく、全ての児童・生徒の力を最大限に引き出す学びのことです。

これらの学びを支えるためにICTや先端技術を活用し、児童・生徒の学習状況などの情報を把握・分析し、学校、児童・生徒、保護者が共有します。

三鷹市では、小学校4年生から中学校3年生までの児童・生徒に市独自の学力調査を実施します。これにより、学習状況を経年で把握し、客観的なデータに基づいた学びを提供します。

1人1台タブレット端末を活用した学びの姿

すぐにでも・どの教科でも・誰でも使える

たとえば……

- ・検索サイトを活用した調べ学習、文章作成や発表で活用します。
- ・一斉学習、一人ひとりの学習状況に応じた個別学習、どちらの場面でも活用します。

教科の学びを深める、教科の学びの本質に迫る

たとえば……

- ・理科の授業で、観察・実験の際に、動画撮影し深く分析・考察します。
- ・社会の授業で、各自収集した様々なデータや地図情報を端末上で重ね合わせて深く分析をします。

教科の学びをつなぐ、社会課題などの解決や一人ひとりの夢の実現に活かす

たとえば……

- ・教科横断的な学習において、情報収集、議論、発表など様々な場面で、効果的に活用します。
- ・実社会の問題状況に関わる課題や、進路選択の情報収集などに役立てます。



「三鷹GIGAスクール構想 研究推進事業」による研究開発

タブレット端末の効果的な活用について、市立小・中学校の教員から「三鷹GIGAスクールマイスター」および「三鷹GIGAスクール研究開発委員」を任命し、月に1回程度の連絡会議を開催して、円滑な導入と効果的な活用が進められるよう協議と研究開発を行っています。

三鷹GIGAスクールマイスター

年間指導計画の策定や活用にあたってのルールづくりを行い、教員の効果的な活用を推進します。

三鷹GIGAスクール研究開発委員

市内の教員が実践できる学習モデルを作成します。また、学習動画の内容や動画の活用方法について研究を行います。



「GIGAスクール構想」とは？

1人1台端末と通信ネットワークの一体的な整備により、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、個別最適化され、資質・能力を一層確実に育成できる教育ICT環境の実現を目指す国の構想です。これまでの教育実践とICTとを効果的に融合させ、児童・生徒の力を最大限に引き出します。GIGAスクールのGIGAとは、Global and Innovation Gateway for Allの略です。



ケーブルテレビでの学習動画の放送

三鷹市および武蔵野市の市立小・中学校の教員が中心となり、学習動画を作成し、夏休み期間に三鷹市と武蔵野市のケーブルテレビ(株式会社ジェイコム東京)で試行的に放送を行いました。三鷹市公式動画チャンネル(YouTube)およびジェイコムアプリ「ど・ろーかる」でも同内容を配信しています。



学習動画の一場面

本放送の視聴により、生活リズムを整えることや、家庭学習の習慣を身につけることに効果が見られました。今回得た成果を今後の学習動画教材の開発に生かしていきます。



ハイブリッド型学習研究開発校での研究

令和2年度から2年間、鷹南学園東台小学校をハイブリッド型学習研究開発校に指定し、各学年の発達段階に応じたハイブリッド型学習などについての開発を進め、市内の学校へ広めていきます。



「ハイブリッド型学習」とは？

日常の対面授業(オフライン学習)と、タブレット端末を活用したオンライン学習を組み合わせた学習形態です。

雨垂れ石を穿つ



教育委員会 委員
富士道 正尋

かつて、私が校長を務めていたある年、夏休みを控えた終業式で「雨垂れ石を穿つ」の話をしたことがありました。

これは「漢書」の中に出てくる言葉です。軒下から一滴一滴落ちる雨だれさえも、長い間同じ所に落ち続ければ、ついには石に穴を開けてしまふという意味があります。それ自体は小さく弱いものでも、積み重ね集積した力は計り知れない大きな力になってしまふことはよくあります。

夏休みを控えた子どもたちには充実した生活を送ってもらいたいと願いつつ、さらに何かを継続してやり抜くことに挑戦してほしいとの思いからその話をしたのでした。

さて、今年は新型コロナウイルス禍の中、長い梅雨が明けると一転、連日猛暑が続きました。新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、旅行や帰省を踏み留まったご家庭も多くあったことと思います。また、子どもたちにとっても、夏休み期間中のプール開放の中止や部活動期間の短縮など例年とは全く異なった夏休みとなりました。

今年度、市内の学校においては、四月から休校措置が実施されるとともに、運動会をはじめ様々な学校行事が見直されるなど、異例続きの毎日でした。

すでに昨年度中に策定した授業や行事の計画の見直しを余儀なくされた学校からは、これまでの経験が全く役立たないという声もお聞きしました。

学校再開後も教職員の皆さんは、地域の支援も得ながら、子どもたちの下校後に校内で消毒作業を実施するなど、子どもたちが安心して学校生活を送れるよう懸命に尽力されています。

新型コロナウイルス禍がいつ収束するのか先が見えないこのような時代において、一つのことを継続してやり続けることの大切さを伝える「雨垂れ石を穿つ」の言葉の輝きがより増してきているように感じます。

様々な状況の変化に対して正解が見つからない今、この言葉を改めて子どもたちに贈りたいと思います。常に前を向き、日々の積み重ねに挑戦する三鷹の子どもたちの姿を思い浮かべながら。

学園長に 聞く!

三鷹市では、7つの中学校区ごとの「学園」でコミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育を行っています。このコーナーでは、学園長にお聞きした「我が学園」ならではの特色や取り組みについて、紹介します。

三鷹の森学園 (第三中・第五小・高山小)



みやぎ ひろゆき
宮城 洋之
学園長
(第三中学校長)

10周年記念事業で再認識した地域の力

三鷹の森学園は、平成21年に開園し、昨年、10周年を迎えました。子どもたちの記憶に残る10周年にしようとして昨年からのコミュニティ・スクール委員会(以下「CS委員会」)で議論がされ、様々な行事などが企画されました。バルーンリリースやドローンでの集合写真撮影、記念Tシャツ・バッジの製作販売、ハンドベルコンサート、学園歌の録音、残念ながら当時は環境が整わず実現はしませんでした。オンラインでの3校の中継などが次々に提案されました。正直に言えば、当初、私も実現するのか半信半疑だったのですが、その多くが地域の方々の協力によって見事に実現していきました。学園を支えてくれる地域の力の強さ、この地域がかかえる多種多様な「人財」の力を改めて認識しました。



10周年記念事業で行われたドローンによる集合写真撮影

三鷹の森学園が目指す教育

学園の10周年に先立って、平成30年4月に学園の教育目標を改定しました。この改定にあたっては、3校の教員で熟議を重ねたのはもちろん、CS委員会でも1年かけて熟議をしていただきました。その中で、これからの時代を生きる子どもたちにどのような力をつけていかなければならないのかを議論し、最終的に学園目標にまとめました。実はこれは改訂された学習指導要領にも通じる考え方です。令和元年度・2年度の2年間、三鷹市の教育研究協力校として、各教科の授業のみならず、自然教室や修学旅行をはじめとする特別活動、さらには学校図書館を利用した学び方の指導などを含め、9年間のあらゆる教育活動を通じてこの学園目標に掲げた力を育成するためのカリキュラム研究を進めています。



3校の教員による熟議の様子

新型コロナウイルス感染症と学園のこれから

新型コロナウイルス感染症の予防と学校での学びの両立は、純粋に難しいです。安全を確保するための様々な対応策を、子どもたちや教員に無理がないようにとっていかねばなりません。また、例年、小学生の保護者も対象に実施していた進路説明会や、先述の教育研究協力校の研究発表など、学園の教育活動を広く発信することを予定していた機会に多くの方にお集まりいただくのが難しくなってしまう、大変に残念です。

今回の新型コロナウイルス感染症もそうですが、まさに予測困難で、変化の激しい時代を迎えています。しかし、三鷹の森学園には、学園を支えてくれる多種多様な「人財」がいます。こうした難しい状況にあっても、地域の方々と一緒であれば、次の新しい10年も学園目標の実現に向けてまい進できるものと確信しています。

令和元年度 三鷹市立小・中一貫教育校(学園) 評価・検証を行いました

各学園では、コミュニティ・スクール委員会による学校関係者評価を経て、その年度の学園運営、教育活動などの成果や、課題と改善策、課題解決のための創意工夫、改善策の有効性などについて評価・検証を行い、結果を年度末に教育委員会に報告しています。

報告書については、市ホームページに掲載しています(右の二次元コードからもアクセス可)。

⇒指導課 ☎ 内線 3245



令和元年度 教育委員会主要事務事業の 点検・評価を実施しました

教育委員会では、令和元年度の主要事務事業の実施状況について、点検・評価を行い、報告書をまとめました。この報告書は、コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育の充実と発展など、14の主要事務事業について、進捗状況や成果を評価し、今後の取り組みと課題を明らかにするものです。

報告書については、市ホームページ、市政資料室(本庁舎2階)、各図書館および総務課(教育センター1階)で閲覧できます(右の二次元コードからもアクセス可)。

⇒総務課 ☎ 内線 3213



西部図書館の休館に伴い 移動図書館が臨時巡回します

西部図書館は、9月7日(月)から改修工事のため休館しています(令和3年3月19日(金)まで)。この期間はブックポストも利用できません。代替サービスとして、移動図書館「ひまわり号」の臨時巡回を9月26日(土)から実施します。



移動図書館「ひまわり号」

「ひまわり号」臨時巡回

◆巡回ステーション

大沢天神児童遊園(大沢二丁目9番)

◆巡回日

9月26日(土)～令和3年3月14日(日)
の毎週土・日曜日

(1月2日(土)・3日(日)は除く)

◆巡回時間

①午前10時～11時30分

②午後2時～4時

◆西部図書館を受取希望館としている予約資料の受け取りについて

予約資料は、大沢天神児童遊園の「ひまわり号」臨時巡回時(土・日曜日)または三鷹図書館本館(火～金曜日)で受け取ることができます。

⇒西部図書館仮事務所 ☎ 24-7101 (9月23日(水)から繋がります)



※駐車場はありませんので、お車でのご利用はご遠慮ください。

「学校の新しい生活様式」を実践しています

市立小・中学校では、新型コロナウイルス感染症のリスクを可能な限り低減しつつ、教育活動を継続し、児童・生徒の健やかな学びを保障していくため、「3つの密(密閉、密集、密接)」を徹底的に避けることやマスクの着用、手洗いなどの手指衛生など基本的な感染対策を継続する「学校の新しい生活様式」を実践しています。

また、国・東京都の補助制度を活用し、きめ細かな指導などを図るための教育活動支援員の拡充配置や、衛生環境確保のためのサーキュレーターやアクリル板など、学校の状況に応じた多様な物品の購入を行っています。

さらに、1学期中の学校給食費の2分の1を公費負担することによる家計への負担軽減や、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う休業や解雇などで家計が急変した世帯が就学援助の対象となるように、就学援助の認定基準の要件を緩和しています。

引き続き、学校における新型コロナウイルス感染症対策に皆様のご理解とご協力をお願いします。

川上郷自然の村のご紹介

川上郷自然の村は、高原野菜の産地として有名な長野県の川上村にある校外学習施設です。学校が使用しない期間は、保養施設として広く一般の方にご利用いただいています。

現在、新型コロナウイルス感染症への対応策として、定期的な消毒や食事の提供方法の工夫などを行っています。利用者の皆様には、チェックインの際、検温や健康状況の確認をさせていただきます。また、手洗い、手指の消毒、館内共有スペースでのマスク着用など、感染リスク対応策の取り組みにご協力をお願いします。

【宿泊料金】大人3,700円から、小学生2,500円から(1泊2食付き)
宿泊希望日の3日前までに、電話・FAX・三鷹市川上郷自然の村ホームページでお申し込みください。

三鷹市川上郷自然の村
〒384-1406 長野県南佐久郡川上村大字原591番地362
☎0267-97-3206 FAX0267-97-3207
HP <http://www.sizenomura.jp/>

教育委員会の主な活動

教育委員会では、毎月、定例会を開催し、基本方針の決定や規則の制定改廃などの議案について審議を行っています。また、学校訪問を実施し、学校経営・授業などに対し指導・助言を行うほか、学校保護者との懇談会や学校の研究発表会、都内教育委員会相互の連絡会に出席するなど、学校の状況や教育行政をめぐる諸課題の把握に努めています。教育委員会の会議の開催予定や会議録は、市ホームページに掲載しています。

令和2年4月～9月の 主な審議案件と活動

4月

- 令和2年度事業計画の承認
- 会計年度任用職員制度導入に伴う関係規則の整備に関する規則の制定
- 三鷹市教育委員会事務専決規程等の一部改正

5月

- 令和2年度一般会計補正予算見積書
- 三鷹市いじめ問題対策協議会委員・三鷹市立図書館協議会委員・三鷹市社会教育委員の委嘱・任命

6月

- 職員人事に係る臨時代理の承認
- 副校長人事の内申に係る臨時代理の承認

7月

- 令和2年度基本方針と事業計画の修正
- 令和2年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価(令和元年度分)
- 三鷹市立学校の教育職員の在校等時間の上限等に関する方針

8月

- 三鷹市立図書館協議会委員の任命
- 副校長人事の内申
- 学校訪問(第一中学校)

9月

- 教利用図書採択に伴う懇談会
- 東京都市町村教育委員会連合会研修推進委員会
- 令和3年度使用小・中学校教科用図書及び小・中学校教育支援学級用教科用図書の採択
- 令和2年度一般会計補正予算見積書に係る臨時代理の承認

10月

- 東京都市町村教育委員会連合会研修推進委員会
- 令和2年度一般会計補正予算見積書に係る臨時代理の承認

11月

- 三鷹市立図書館の管理運営に関する規則の一部改正
- 令和2年度一般会計補正予算見積書に係る臨時代理の承認
- (○は会議の案件、●は会議以外の活動)

↓総務課 ☎ 内線 3213